

第 10 期施設等整備事業計画

令和 2 年 3 月

寝屋川市上下水道局

目 次

- 1 はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 2 第 10 期施設等整備事業計画・・・・・・・・・・・・ 1
- 3 施設等整備事業計画の沿革・・・・・・・・・・・・ 3

参 考

- 施設等整備事業計画（年度別計画表）・・・・・・・・ 4
- 送・配水管布設工事年度別明細・・・・・・・・・・・・ 5

※図 面（別添）

1 はじめに

上下水道局では、給水人口の減少や節水型社会への移行等により減少し続ける配水量や、高度経済成長期に整備した水道施設が更新時期を迎えることを踏まえて、安全で良質な水道水を将来にわたって安定的に供給し続けるため、平成 17 年度に策定した寝屋川市水道ビジョンにおいて今後の水道事業の長期的な方向を示すとともに、個々の事業の実施に係る財政的な検討を加えた実施計画及びこれに基づく施設等整備事業計画に定める水道施設の整備や水道管路の更新に取り組んできました。

平成 28 年度から令和 2 年度を計画期間とする第 9 期施設等整備事業計画においては当初の計画を上回る水道管路の更新を実施することができたことから、計画を 1 年前倒しし、新たに令和 2 年度を初年度とする第 10 期施設等整備事業計画を策定しました。

2 第 10 期施設等整備事業計画

配水量の減少などの厳しい経営環境を踏まえ、経営基盤の健全性維持と必要な整備・更新事業の実施との両立を目指し、緊急性や重要性、熟度等に基づき個々の事業の優先度等を勘案して策定した第 10 期施設等整備事業計画（6 箇年）を着実に推進し、安全で良質な水道水の安定供給の維持向上を図ります。

| | |
|------|-------------------|
| 事業期間 | 自 令和 2 年 4 月 1 日 |
| | 至 令和 8 年 3 月 31 日 |

| | |
|------|--------------|
| 総事業費 | 7,356,000 千円 |
|------|--------------|

○水道管路

第 10 期施設等整備事業計画（令和 2～7 年度）では、アセットマネジメントの概念を取り入れ、財政的な視点と合わせて中長期の更新需要・財政収支見通しに基づく計画的な施設更新を行い、基幹管路、重要給水施設管路の耐震化について重点的に取り組むこととしています。また、口径 50mm の小口径管路についても、耐震性継手を有する管材料を使用し、引き続き災害に強い管路網の構築を図っていきます。

計画延長合計

L = 28,065m

策定方針別内訳

- ・重要給水施設への配水管路の耐震化 L = 2,534m
- ・基幹管路（送水管・配水本管）の耐震化 L = 1,176m
- ・安定給水確保のための配水管路の耐震化 L = 24,355m

消火栓設置工事 114 基

○水道施設

第 9 期施設等整備事業計画では、配水場・配水池など水道施設の更新及び耐震補強工事を推進することで、平成 30 年度末に水道施設の耐震化率 100%を達成したことから、第 10 期施設等整備事業計画では、配水施設のポンプ設備をはじめ電気・計装設備についてもアセットマネジメントの結果や配水量の推移を考慮したうえで、設備の更新を図るとともに規模の適正化を図ります。

3 施設等整備事業の沿革

| | 期 間 | 当初計画額 (百万円) | 実績額 (百万円) |
|------|---------------|----------------|--------------|
| 第1期 | 昭和51年度～昭和55年度 | 1,250 | 1,178 |
| 第2期 | 昭和56年度～昭和60年度 | 1,400 | 1,400 |
| 第3期 | 昭和61年度～平成2年度 | 1,500 | 1,197 |
| 第4期 | 平成3年度～平成7年度 | 1,200 | 1,146 |
| 第5期 | 平成8年度～平成12年度 | 1,880 | 1,646 |
| 第6期 | 平成13年度～平成17年度 | 2,525 | 1,748 |
| 第7期 | 平成18年度～平成22年度 | 3,480 | 1,853 |
| 第8期 | 平成23年度～平成27年度 | 5,728 | 4,696 |
| 第9期 | 平成28年度～令和元年度 | 4,925 | ※3,798 |
| 第10期 | 令和2年度～令和7年度 | 7,356 | |

※令和元年度の実績額は計画値を採用